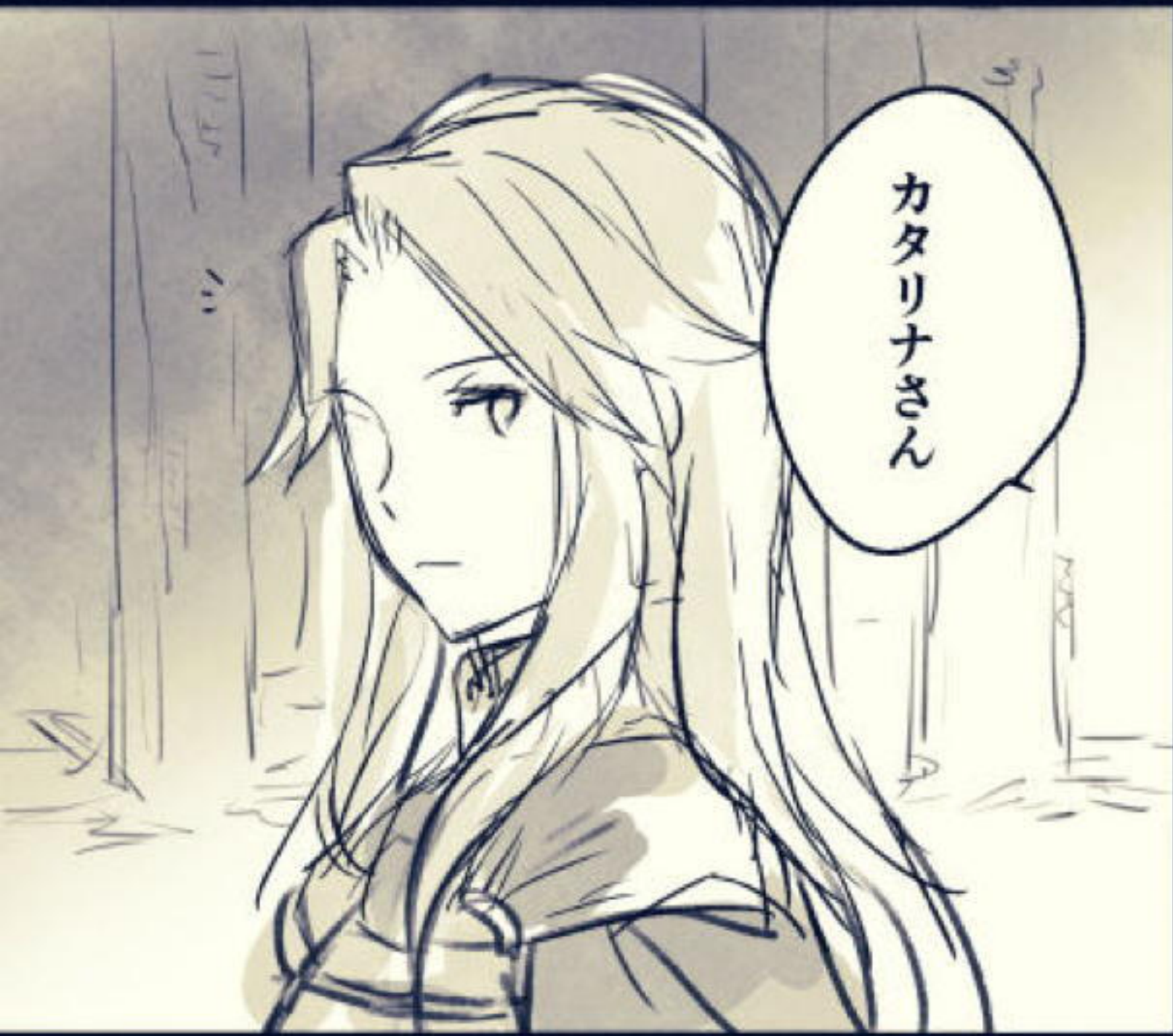




※注意※

گرانکونの攻め度が0%のグラジャミ漫画だよ！





カタリナさん



こんな夜中にか？
一人では危険だ
私も一緒に…

眠れないから
ちよっと近くを散歩でも
して来ようかなって…

そんなに遠くには
行かないから
剣も持っていくよ



どうした？
グラン

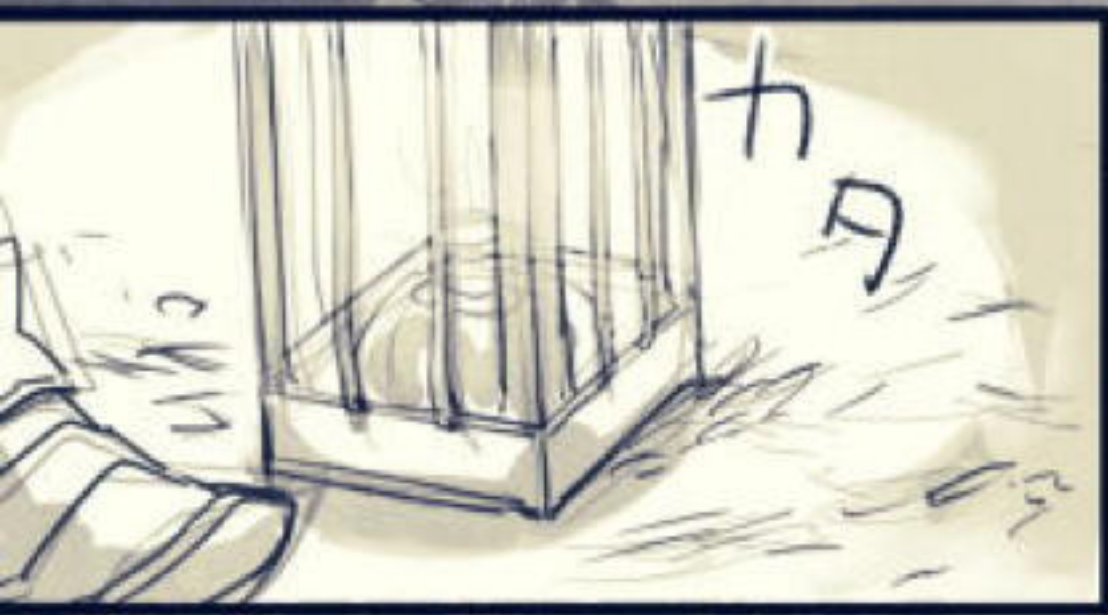
うん…
えっと、その



はい
ありがとうございます



：わかった
だが本当に
気をつけるんだぞ



この辺りまで
来れば平気…かな



ほんと…何で
こんな時に…

早く済ませて
戻らないと…



はあ……



っ



あ...



っ



んっ



ん...

...



ん...

あ

あ

あ

出...

ん...

主君!



おひとりですんなに
野営地から離れられ
ては危険で――

主君!

ガサッ

!!



あ...

あああ、

これは...その...

どう考えても言い逃れ
できない状況



ヒ

タッ



……っ
きよ、

今日すっごく
疲れてて、
早く寝たいんだ!!

寝たいんだけど!!

何故かここだけ
すっごい元気でっっっ!!!

ほら、男って

たまたにそういうこと
あるだろ〜〜?!



スッ...



……も、
申し訳
ありません
主君……

俺に構わず
どうぞ続きを
なさって下さい

俺は少し離れた
ところで待機
していますので……

え

……え?

じーん

ジャミル?
おーい……





主君…

早っ!!

もうお済み
ですか…?

う、うーんと
まあ……

なんかうまく
出来なかったから…

えっ



えっ
いったいや
そんなことは…



…もしかして、
俺のせいですか
…?!



このままお戻りに
なってますか…?
なので…?

そん…
そうだなあ

とりあえず
眠れれば
いいんだけど…



あ
しまった…
結構気に
してるかも

シヤッとして
まじで真面目だもんな
僕ももう少し意見を
述べよかったです



あ…それより
わざわざ心配して
来てくれてありがとう

そんなに
気にしなくて
いいから

とにかく
もう戻る

あの、
主君!

ん?



?



…よろしければ
俺にまかせて
頂けないでしょうか



—主君…

え？

目を瞑って、
ゆっくり息を吐いて
リラックスしていて
くださいね

え？

な

なんで??

えっいや、
ちよ…っや、



っ…!

ビクッ



む

いーや



主君

…大丈夫、
ですよ



ジャ…



ジャミル…!



なにが
…?

な…



…っ!

待っ…



ま

わっ





ジャミル...

ジャミル...

ジャミル...

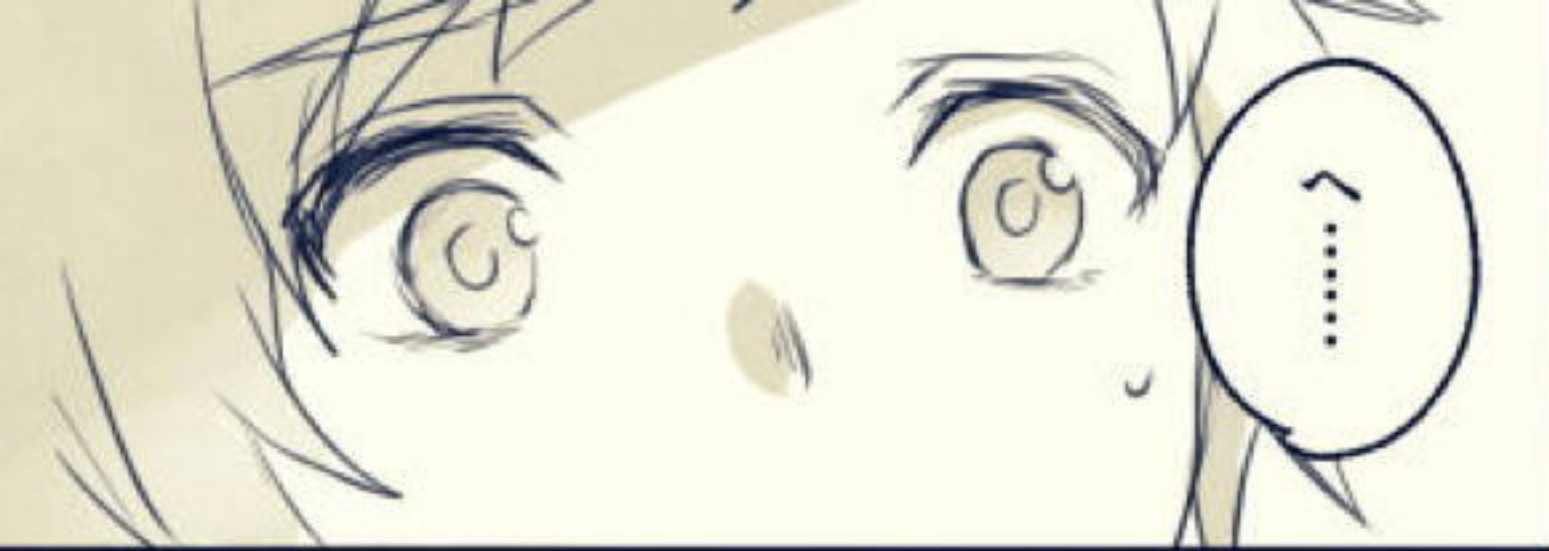
ジャミル...

ジャミル

ッ.....!!









10 #

ヒキッ

.....

あ、お

ッ...!!!

わ

あ...っ

ん...っ!

ん...っ

ん...っ

ん...っ

ああ...っ!!

うあ...っ!

ツキ、ム...っ



っ…



こんなの
夢でも見てるん
じゃないかって思った



っ…っ…

—こんな



本物の僕は
みんなと焚火を囲んで
固い土のベッドの上で眠ってるんだ



きっとそうだ

そう思うことにした僕は

そのまま意識を遠くへ手放した

気付いたら朝だったので
本当に夢だったのか...?
と思いはじめるがうんくいなので
あ、た...

